

令和2年5月 京都市議会定例会【代表質問】

2020年5月22日(金)、京都市議会の本会議において、公明党京都市会議員団を代表し、質問しました。

1 | 新型コロナウイルス感染症を受けた避難所運営について

質問 本市におけるコロナ禍での自然災害発災を視野に入れた避難所の感染拡大防止対策、とりわけ運営マニュアルの改定やそれに伴う防災備蓄の見直しが急務と考えますが、ご所見をお聞かせください。

大きく前進

答弁 避難所運営マニュアルは、新型コロナウイルス感染症対策に特化したものを作成し、現場で詳細な運営ができるよう協議を進めています。なお、避難所以外に身を寄せる場所がないか等を事前に確認いただくためチラシによる周知を図ってまいります。更に、非接触型体温計などを新たに避難所に配備する等対策に万全を期してまいります。

2 | 女性視点の防災減災対策について

質問 防災会議における女性委員の参画を積極的に推進することが重要と考えますがいかがでしょうか。

大きく前進

答弁 女性委員の登用率の抜本的な向上を図り、地域防災計画の改定や避難所運営など、あらゆる防災減災対策に女性の視点が活かされるよう取り組んでまいります。

3 | 熱中症対策について

質問 国における熱中症アラート等の新たな取組やコロナ禍の現状を踏まえ、全庁的な推進体制の検討など熱中症対策をより一層強化していくべきと考えますがいかがでしょうか。

実現しました

答弁 実務者による検討チームでコロナ禍における「新しい生活スタイル」に応じた啓発チラシやホームページを作成し、市が行う個別通知等で周知を徹底してまいります。熱中症は新型コロナウイルス感染症の初期症状と似ており、感染症の迅速検査キットの導入も検討してまいります。

4 | 多胎児育児の支援の拡充について

質問 保育園入園に関する保育の必要性認定に「多胎児育児」を加えるよう提案するとともに、多胎育児家庭に対する様々な支援をより手厚く拡充すべきと考えますがいかがでしょうか。

実現しました

答弁 サポートブックを作成し、情報発信の強化を図るとともに、保育所入所に関し、多胎児が入所しやすくなるよう、本市独自のポイント加算の更なる拡充を検討する等、多胎児育児支援の更なる充実について取り組んでまいります。

★各種相談窓口をご利用ください

新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口	075-222-3421(24時間)
中小企業等支援策活用サポートセンター	0570-003-080
学生等に対する経済的支援等	各学校の窓口もしくは日本学生支援機構 0570-666-301
DV相談+(プラス) もしくはDV相談ナビ	0120-279-889(24時間) 0570-0-55210(24時間)
京(みやこ) SNS相談(児童生徒向け)	小・中・高校から配布されたチラシのLINEのQRコード
子ども相談24時間ホットライン (子ども(高校生まで)及び保護者)	075-351-7834(24時間)
きょう・こころ・ほっとでんわ(自殺予防相談)	075-321-5560(24時間)

松田けい子プロフィール

- 1966年 京都市に生まれる
- 1982年 創価女子中学校卒業
- 1985年 関西創価高等学校卒業
- 1987年 京都コンピュータ学院卒業
- 2018年 公明党市政相談女性委員長
- 2018年 公明党山科支部副支部長
- 家族:夫、1男3女の6人家族
- 趣味:読書
- 星座:獅子座
- 血液型:O型
- 好きな花:マーガレット
- 好きな食べ物:トマト
- 座右の書:「永遠の都」
- 好きな言葉:「生きゆく力を持つ人は常に強く常に感謝ある人は幸いなり」
- モットー:「感謝」「負けじ魂」

みなさまのご意見・ご要望をお聞かせください。

「ちっさなチカラもち」あなたの声に寄り添います。

公明党 京都市会議員

まつだ
松田けい子

メール omoiari.km@gmail.com

〒607-8162
京都市山科区柳辻草海道町4-7
イーグルコート柳辻3アベックス202
TEL:075-582-5200 FAX:075-582-5201

ホームページ http://www.komei.or.jp/km/matsuda-keiko-kyoto/



松田けい子 検索

—KOMEITO—
公明党



まつだ
京都市会議員 **松田けい子** 市政報告

まつだより

第3号

2020
夏号

まかせてください! つなぎます! だ いじな声を、カタチにします。

新型コロナ!いのちとくらしを守る! 市長へ連続して緊急要望!



公明党市会議員団は、医療衛生体制をはじめ感染防止対策強化、正しい情報提供と相談窓口の充実、教育現場へのケア、中小企業等への支援拡充等、日々変化する状況に即した**緊急要望**を門川市長に連続して提出しました。その結果、**国・府と連携した支援の取組み**が第1弾～第4弾として予算化。**支援を必要とされている現場へスピーディに届けるよう**要請しました。



主な新型コロナウイルス感染症対策(4月～7月の市会で可決成立)

- ★特別定額給付金(1人10万円)
- ★中小企業等緊急支援補助金(上限30万円)
- ★文化芸術活動緊急奨励金(上限30万円)
- ★PCR検査を民間医療機関に拡大
- ★宿泊施設を医療従事者の待機場所に活用
- ★医療介護福祉施設への消毒液・マスク配布
- ★固定資産税、保険料等の減免
- ★住宅困窮者への市営住宅の提供
- ★妊婦のPCR検査の公費助成(上限2万円)
- ★児童生徒のオンライン学習支援
- ★介護福祉従事者に5～20万円の慰労金
- ★ひとり親世帯臨時特別給付金(5万円)

生活現場の小さな声をカタチにしました

- ★「中小企業緊急支援補助金」料金別納の宛名ラベルのダウンロードにより郵送料を不要に!
- ★「情報提供の充実」
- ★外国人への多言語化による情報提供
- ★聴覚障がい者へのメールやFAXでの問い合わせなど
- ★就学援助金受給世帯への学校給食費相当分の支給
- ★上下水道料金の支払い猶予
- ★コロナ禍で失業・内定取消し・アルバイトがなくなった学生を非常勤職員に





福祉についてご意見をお聞きました。(2020年7月)

働く女性のご意見をお聞きました。(2020年2月)

子育てについてお聞きました。(2020年2月)

まかせてください つなぎます だいじな声を カタチにします



コロナ禍における保育の現状と課題について様々なご意見を伺いました。(2020年7月・市内の小規模保育園にて)



京都大学大学院 安里和晃准教授との 意見交換会



京都市の「多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチーム」のアドバイザーである安里准教授と、公明党市会議員団の政策提言「外国人との共生をかんがえる」についての意見交換。私は「コロナ禍での外国人住民・労働者の状況やその影響」について質疑を行いました。

7月特別議会 予算特別委員会第2分科会



「児童養護施設等の退所者への支援」及び「支援対象児童等見守り強化事業について」質疑。未来のタカラである児童の「気づきの窓口」となる体制づくりとなるよう要望しました。

教科書展示会



京都市総合教育センターで開催された、中学校・高等学校・特別支援学級・特別支援学校で使われる教科書の展示会へ。発達障がいや弱視などの視覚障がいにより読み書きが難しい児童や生徒向けの「デイジー教科書」も体験。GIGAスクール構想を進める中であって、こうした教科書と併せて、一人ひとりに最適で効果的な学びが提供されることを期待します。

まちづくり委員会

都市計画局や建設局に対して、委員会の質問を通じて様々な提案および要望をしました。これからも、市民の皆さまにとって有効な施策推進に取り組んでまいります。

- 「土砂災害特別警戒区域内建築物安全対策補助事業」について
- マンション管理の適正化について

- 市営住宅について
- 「あなたもまちの樹ペアレント制度」について
- withコロナ新しい日常に対応するための道路政策について
- バイクの駐輪スペース確保について
- 市発注工事における働き方改革および建設業における女性活躍について

男女共同参画に関する パネル展へ

男女共同参画週間に開催されたパネル展を見学。今年のキャッチフレーズは「そっか。いい人生はいい時間の使い方なんだ。」ジェンダーの観点の重要性を感じました。

安心・安全の山科へ 小さな声を形にしました



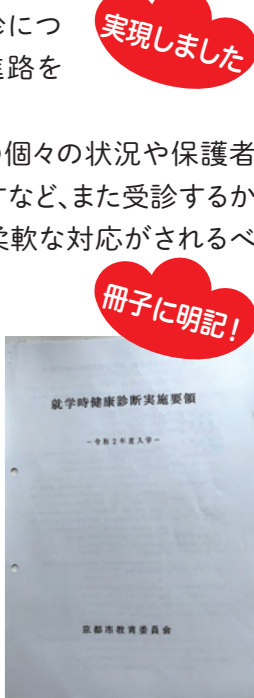
教育福祉委員会での 質問から

(就学時健康診断について)

質問 障がいのある幼児の健診について、個別の障がいや進路を踏まえた選択肢が必要。

様々な障がいを抱える子どもたちの個々の状況や保護者の希望などに応じた選択肢を増やすなど、また受診するかどうかのご相談を受けるなど、より柔軟な対応がされるべきと考えますがいかがでしょうか。

答弁 健診に当たりましては、学校からお知らせで保護者の方へ案内をさせていただきますが、配慮を伴うことですか、学校でご相談に乗れることがありましたら、保護者の方にも気軽にご相談いただけるような形での保護者への連絡も、今後、考えていきたいという風に考えております。



Check it out!

「京都市新型コロナあんしん追跡サービス」のご活用を
京都市では、店舗や集客施設等で新型コロナウイルスの感染者が確認された場合に、接触の可能性のある人に対して保健所等への相談を促すメールが届くサービスを実施しております。ご利用先で掲示してあるQRコードからご登録・ご利用ください。

新型コロナウイルス接触確認アプリ 「COCOA」をご存じですか

厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、接触確認アプリ(COCOA)を開発しました。これはスマートフォンの近接通信機能(ブルートゥース)を利用して、個人情報分からないようプライバシーを確保した上で新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。そのことにより利用者は検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。このアプリは利用が増えることで感染拡大の防止につながることを期待されます。皆様もぜひ利用いただきますようお願いいたします。

